



こうほう

— 総代会、各本部全体会議特集 —



国指定史跡「秋常山古墳群」の『アジサイ』

古墳全景



DEINET

デンネット“DENNET”は電気(Denki)工
事業で固く結ばれた協同集団(Network)
を意味して造られた組合の略称です。

第 146 号

令和元年(2019年)7月10日

石川県電気工事工業組合

国指定史跡「秋常山古墳群」の 『アジサイ』

能美市秋常町には石川県最大の秋常山1号墳を含む国指定史跡の秋常山古墳群があります。

その古墳群のアジサイは、毎年6月から7月にかけて、青・紫・ピンク色の花を密につけて手毬状をなし、まれに白色もあり来場者を楽しませてくれます。

そして、アジサイの花ことばは「団結」であります。

今秋、この石川の地で「第33回電気工事業全国大会」が開催されますが、アジサイの花ことばにあやかり、全国大会の成功に向けて、組合員一同「団結」して頑張りましょう。

目 次

新年度のご挨拶	1
第78期通常総代会	9
第57回優良従業員表彰式	16
3本部、相次いで全体会議開催	19
電気使用安全月間行事	23
各本部だより	25
青年部だより	34
『令和元年度 新入社員教育（外線・引込線）』が 実施されました	35
『令和元年度 新入社員教育（内線）』が 実施されました	36
新加入組合員の紹介	37
組合事務局日誌	42

新年度の抱負

理事長 米 沢 寛



組合員の皆様には平素から当組合の事業運営にあたり格別なご支援ご協力を賜り感謝と御礼を申し上げます。さて、令和という新しい元号がスタートしました。皆さんとともに新しい年号を祝福し組合事業もより一層の発展をめざしたいと思います。

昨今、地震や豪雨、台風など多くの自然災害に見舞われ、各地で大きな被害が発生しています。つい先日も山形県沖を震源地とする地震が発生しました。新潟、山形、石川の各県沿岸に津波注意報が発令されましたが、幸い大きな被害はなくあらためて身近に自然災害が潜む怖さを体験しました。日頃の防災意識や防災対策の大切さを痛感したところです。

異常気象は市民生活のいろいろなところで発生、被害を生じています。災害時における停電などもかつてほどではないにしても発生しています。近年は特に家庭の電化が急速に進んでいるだけに停電は大きな問題です。安心・安全に電気をお届けする責務がある私たちはいつの時代にあってもより以上の迅速な対応が求められています。

今やすっかり電気工事業界の定番となった感があります電気工事技能競技全国大会、昨秋は両国国技館で開催されました。「目指せ“頂点” 燃やせ熱き魂競え極限の技」を大会テーマに一般の部30名・女性の部5名、高校生の部9名の選手が参加し技能日本一を目指しました。一般の部で石川代表の安部良さんが銅賞に輝き存在感をしめしました。回を重ねるごとに社会の関心も高まりつつあり、見る人たちにとっても素晴らしいイベントになっ

ています。電気工事をより身近に感じ、専門的な技術を広くそして多くの人たちに公開することで電気工事業への理解を深めたいと思います。石川からさらに多くの優秀な仲間を輩出したいと願っています。

今年は10月に金沢市で「全日電工連創立60周年記念第33回電気工事業全国大会」を開催します。大会は全日電工連が60周年を迎えることから60年の歩みを振り返る記念すべき大会でもあります。大会のサブ・テーマは「知ろう」「語ろう」「伝えよう」です。金沢の地から未来に向け組合員自らが業界を再発見し、広く地域の皆様や若者に業界の魅力を伝え、発信していくそんな記憶に残る素晴らしい大会にしたいと思います。多くの組合員の皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

私たちを取り巻く環境が目まぐるしく変化を遂げています。電気工事業界の今後の進むべき道についても皆様と共に考えなければなりません。経営者自らが意識改革はもちろんのこと、自らが行動を起こすことがこれまでも増して重要と思われます。具体的には「業界づくり」、「人づくり」、「仕事づくり」を喫緊のテーマに掲げ、スピード感を持って組合事業を展開したいと考えています。

いつの時代も課題は山積していますが、目指す方向は『お客様目線で進取の業界』を指向し、業界の技術向上・組合経営力強化に役に立つ方策・事業を展開したいと思います。

今後とも、一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

令和の時代の電気工事業

副理事長兼
能登本部長
(安全担当)

稲垣 健 英



時代が平成から令和に移りました。

昭和20年代に全国に電気工事を生業にする会社が設立され昭和32年には全日本電気工事工業組合連合会の前身の全日本電気工事業協同組合が発足しました。昭和46年には現全日電工連会長米沢 寛氏の御父上の米沢外秋氏が会長に就任し平成13年まで30年に渡り会長職を務められました。そして今年10月16日、17日に金沢において「全日電工連創立60周年記念第33回電気工事業全国大会」が開催されます。

電気工事業は昭和に創生、平成に熟成。そして令和に変革の時代を迎えます。

・後継者問題

電気工事業を初代、2代目と引き継いだ会社が3代目の後継者不足による廃業が見受けられる様になりました。早急に会社の相続問題に思案をしなければならない時にきています。

・各種免許の取得

免許の継承も申告な問題です。平成元年頃

第一種電気工事士免許、平成6年頃1級電気施工管理技士が講習で免許を貰えた時代がありました。講習で取得した免許を持っている方々が定年等で退職やお亡くなりになり現在は各会社においては資格免許を保持している人数が減少しています。各種免許の取得に今以上の講習体制を取らなければ成りません。

・電気工事技術の変革

電気工事は目覚ましい変化が起きています。特に弱電系統にはA Iを始め強電に連携する新技術の取得が必要になっています。

・安全に対する意識改革

平成20年代はまだ安全に対しての要望が大きくありませんでしたが特にこの数年内線工事・配電線工事共に厳しい安全対策を求められるようになりました。これには経営者のみならず社員も一緒になって安全に対して向き合わなければなりません。

令和の時代は電気工事業が更なる発展を目指しますが、何もしなくては新しい時代に残される危険もあります。

副理事長兼
加南本部長
(配電担当)

今 出 真 稔



向日葵が日毎に背を伸ばすこの頃となりましたが、組合員の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。常日頃から電気工事組合の諸事業・活動・運営に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。先般開催されました第78期通常総代会においても、ご出席いただいた総代の皆さま方の熱心な審議により全ての議案をご承認いただいたことにも重ねて御礼申し上げます。

さて、国家が進める電力システム改革により全国の手電力会社は来年4月にはいよいよ発送電部門の法的分離が施行され現在の北陸電力株式会社様は「北陸電力株式会社」と「北陸電力送配電株式会社」に分社化されますことは、皆さまご存じのとおりであり、電力業界にとって大きな節目の年度となります。今後は小売電気料金規制撤廃により電力市場は完全自由化となることが決定されておりますが、託送部門である送配電会社の配電工事においては今後も安定した受注に期待しているところでもあります。今年度の配電工事工量単価は過去最高額となりましたが、特に配電工事施工者は安全作業や基本ルールを遵守し、更に施工力・効率化を向上させて最高の施工品質の確保を目標にして北陸電力株式会社様からの期待に応えて参りたいと思います。

これから、「東京五輪（2020年）」「北陸新幹線敦賀延伸（2023年）」「大阪万博（2025年）」と北陸地域に大きな影響が予想される大規模な建設工事が見込まれますが、電気工事業界

では熟練技術者の多くが高齢化し、併せて少子化による将来の人材不足により企業承継問題が顕在化しております。雇用環境を整備し若年層の電気工事業界への就労支援を促進し業界の担い手不足解消に対する対策に取り組む必要があります。

また、令和元年となる記念すべき年に「第33回電気工事業全国大会（創立60周年記念大会）」が、本年10月17日に石川県立音楽堂を主会場として開催されます。全国大会準備委員会リーダーとして徐々に緊張が高まっておりますが、企画準備に係わる少数の人間の能力には限りがあり、組合員全員の皆さまのご協力がなければ本大会の成功はあり得ません。全国の電気工事に係わる仲間たちの記憶に強く残る大会を成功させて、大きく揺らぎない電気工事業界の未来に繋げていきたいと考える次第でありますので、皆さまのご理解と献身的なご協力を切にお願い申し上げます。

これから本格的な猛暑の季節となりますが、ご家族・従業員の方々を含めてご壮健にて暑さを乗り越えられますよう体調管理には十分ご留意されご自愛くださいますようお願い申し上げます。

最後に皆さま方のますますのご健勝とご繁栄をご祈念いたしますとともに、諸先輩方々はじめ組合員の皆さまから、尚一層のご指導・ご鞭撻を頂戴いたしたくお願い申し上げます、新年度のご挨拶とさせていただきます。

金沢本部長
(ESCO事業担当)

柚 木 賢



盛夏の候、組合員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。第78期通常総代会におきまして、金沢本部長を拝命いたしました。令和元年の記念すべき年に拝命していただき、大変身の引き締まる思いです。皆様のご指導・ご協力の下、諸事業・諸活動に努めてまいりたいと思いますので何卒よろしくお願い申し上げます。

さて昨年平成30年4月より北陸電力様が分社化に伴い運用されました電力インターネット申し込みですが、運開当初はセンターが大変混雑し、1dayパスワード、ナビダイヤル等の苦情、またクレジット決済での臨時工事費の支払い等々、当日処理率も50～60%でしたが昨年7月末においては、96%まで改善されました。又1年間使用された方は、申し込みデータも蓄積されより使いやすいものになっているのではないのでしょうか。これも北陸電力様、組合員の皆様のご努力のおかげと感謝しております。しかしながら、まだ満足のいくものではなく北陸電力様に対し少しずつ改善を求めていると思います。

ESCO事業につきましては、平成29年度の約43000灯のLED防犯灯の一斉取替も終わり平成30年度より防犯灯の保守管理業務及び一年で約300箇所の新設設置の業務に移ることとなりました。最初のころは、点滅器不良、電力ヒューズ切れなどの不点灯以外に、年明け早々の大雪によるLEDランプの激しい点滅（樹木や建物の積雪の反射光によるもの）又、夏季ではLED取替により蛍光灯の時より明るくなり稲の育成不良になった箇所

（遮光板付きLED防犯灯で対応）もありました。新設については、一斉取替時に緩和されていた電力申請及び電力、NTT柱の使用願いの手続きも通常の手続きに戻り、それらの諸経費も上乗せした形で発注したつもりでしたが、「NTT柱の申請費が安価ではないか？」という声がありそれらについても見直しすることにしております。

又近年、企業のコンプライアンス違反がなにかと話題となっておりますが、我々電気工事工業組合員による電力不正使用工事も見発見されております。いかなる事由があろうとも、電力に何の相談もせず無断で不適切な工事を実施しないように、全従業員に周知徹底をお願いします。今日、員外業者（88業者）との差別化等いろいろ取り上げられておりますが、組合員一人一人が高い技術者意識を持ち、お客様に優良な工事、安心安全の工事を提供していくことが一番の近道ではないでしょうか？

最後になりますが、今年は何ととっても10月17日に当地金沢で22年ぶりとなる第33回電気工事業全国大会が開催されます。米沢全日会長のお膝元でもあり、ホスト組合でもある金沢本部が中心となり活動しなければなりません。桜田副本部長が、金沢の実行委員の長として担当していただきます。今年度は、まず全国大会の成功を最優先課題として、金沢本部の皆さんそして青年部の皆さんのご協力のもと盛況に開催したいと思いますので宜しくお願い致します。



常務理事(厚生担当)

鳥 畑 弘

初夏の候 組合員の皆様方には、益々のご清祥の事とお慶び申し上げます。

第78期通常総代会も終わり、いよいよ令和元年のスタートとなりました。

今年度、厚生委員会では昨年同様、共済事業への協力支援や業務災害補償、互助会等多くの制度に取り組んでまいります。

また、第三者賠償制度は、前年度は事故発生件数が残念ながら19件に上りました。我々は、電気のプロ集団であります。各企業内に於いて今一度作業後の再確認をし、更なる技術教育の徹底をお願い致します。他には、インフルエンザ予防接種についても助成金の支給も考えております。

さて、私が今でもずっと思っていることがあります。それは、自分の姿勢で人は他人から見かけで判断される割合が大きいもので、外見と中身は、もちろん違いますが、姿勢が周りに与える印象は軽視出来ません。背筋を伸ばして美しい姿勢をしている人は元気があり、自信に満ちているように見えるものです。

一方猫背気味の人や、うつむいている人は、覇気が無いだらしが無い落ち込んでいるといった印象を与えてしまいます。自分の姿勢を点検し出来るだけ周囲に良い印象を与えるように意識して仕事に向き合いたいものです。顔を上げ胸を張り、腰を立てるといった事から自分の気持ちが良くなる事もあります。気分が乗らない時こそ背筋を伸ばす事が大事だと思います。

最後になりましたが、組合員の皆様方、ご家族の皆様方のご多幸を祈念致しますと共に、組合へのご支援ご協力をお願い申し上げます。



常務理事(総務担当)

由 雄 一 彦

今年度の役員改選で、再度常務理事の大役を仰せつかり新たな思いと責任を痛感している次第です。理事長よりこのあと2年間引き続き総務委員長としてやってほしいと言われました。この4年間総務委員長として何とか努めてまいりましたが、経理に関しましてはまだまだ分からないことが多くあり、できるだけ理解できるように努力しております。

また前期では企画委員会と合同で長年の懸案だった、組合加入の際の加入金問題で何度も意見交換会を持ち、合同委員会としての案を常務会、役員会へと諮っていただき承認をもらうことができました。それにより今年度の総代会において加入金を100万円から50万円に下げる案件が認められました。今後組合に加入希望の業者には幾分入りやすくなったのではないかと考えております。組合員の総数も年々減ってきております。できる限り加入し易くて、魅力のある組合を目指して頑張る所存です。

現在、組合の経理処理は県本部で3本部を含め1本で行っておりますが、以前からの課題でもあり3本部からの伝票を統一のものにすれば良いと思っております。

また、来年度から我々組合の最大のお客様である北陸電力様も分社化されます。どのように変わるのか不透明なところが多くありますが、組合員全員の知恵を結集して対応していきたいと思います。今回退任なされた諸先輩には、長年の組合活動に感謝を申し上げたいと思います。

最後に、工事においては安全第一に努め、皆様方の益々のご繁栄を祈念すると共に、今まで同様のご支援ご協力をお願い申し上げまして私の挨拶とさせていただきます。



常務理事(電設担当)

米 澤 直 明

盛夏の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

先般の第78期通常総代会におきまして、平成30年度事業報告並びに財務諸表承認の件・令和元年度事業計画案並びに予算案承認の件その他案件につきまして速やかに御審議がなされました。又、任期満了による改選の年でしたが、速やかに改選が行われました。任期を満了されました方におかれましてはお疲れ様でございました、とともに真にありがとうございました。又、新任・再任されました方には今後ともよろしくお願い申し上げます。今後も継続して組合事業が良好に運営なされる様に、一組合員として少しでも貢献させていただきたいと思うものであります。

良好に組合運営がなされている事は、組合員様・組合職員様御一人御一人の真摯な事業運営への御取組はもちろんのこと、業況の厳しい中におかれましても北陸電力様からの堅調な受注工事並びに委託業務によります事は皆様方の周知の事と存じます。真に感謝申し上げます。

令和の時代になり、はや2ヶ月が過ぎました。新しい時代と共に心身一新し業務に勤しむ所存でありますが、今年10月からの消費税10%への増税、担い手の確保など、あらゆる業界に影を落としている諸問題に向き合わねばなりません。私たちの業界において出来る事といたしましては、品質の高い施工を適正価格で顧客に提供させていただく事だと考えています。依然として発生する不良工事に対して、電設担当といたしまして根絶の方向へ誘わせていただべく活動いたしますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



常務理事(広報担当)

上 村 和 弥

梅雨明けも間近、木々の葉が生い茂る季節となりましたが、組合員の皆様におかれましてはお元氣にお過ごしのことと存じます。

また日ごろより組合運営にあたり、格別のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

さて平成から令和へと元号も改まり新しい時代が始まったわけではありますが、当組合においても、本年が当地にて全国大会開催という節目にも重なり、新しい時代に期待する1人でもあります。

私自身第74期より広報担当となりもう4期を過ぎ、昨年度は「こうほう」バックナンバーのアーカイブ化として、組合員がWebで容易にアクセス出来るように利便性を高めてまいりました。

「こうほう」も第146号を迎えこれまでの発刊を支えて頂いた、組合事務局をはじめ、歴代委員長、委員の皆様にも敬意と感謝するのみであります。

ややもすれば「こうほう」発行機関としての活動に収斂しがちな委員会ではありますが、我々を取り巻く今の状況も、電力システム改革が進む中で電力会社においても「発送電分離」の掛け声のもと送配電支社への改編へと大きく変わろうとしております。

その中で県工組広報委員会の役割、使命を改めて見直し、県工組広報の在り方を模索してまいりたいと思います。

そのためにも組合員の皆様の声を、ご意見、ご要望を寄せていただきたくお願いいたします。

時節柄熱中症対策の必要な時期を迎えますが、組合員の皆様の健やかな事業運営を祈念するとともに、今後の組合事業運営にもご協力をお願い申し上げます。



常務理事(企画担当)

竹内 和良

夏の青空がまぶしい季節になりました。
組合員の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

日頃より組合の各種事業や活動にご理解とご支援を頂いております事を厚くお礼申し上げます。
第78期通常総代会も終了し、再び企画委員長と言う重責を務めさせて頂く事になりました。

そんな中で思う事は、色々なお客様に電気を安全に、途切れる事無く使って頂く事が我々電気工事業界に身を置く者の使命として、何時も心において日々を過ごして行かなければと思っております。又、発送配電分離の期限も近づいており、我々の組合の果たす役割は今後大きく重要になって来るのだと思います。この総代会で組合加入金も減額が決まりました。

数は力とも申します。これをどの様にして組合員増加につなげて行くのかを皆様の意見を頂きながら、知恵を出し合って考えて、結果を出して益々、活力の有る組織にしていかなければいけないと思います。

それと、組合青年部の方々の協力を得て行っております、高校生との対話と交流事業も継続して行っており、さらに、高校生の親御さんとも対話と交流の機会を持ち、多くの親御さんに参加をして頂ける仕組みを考えて、我々の業界を理解しもっと知って頂いて、親御さんも生徒達も安心して希望をもって我々の業界に就職し、若い力が増えて活力ある業界になる様に努めて行きたいと思っております。石川県電気工事工業組合が今以上に、皆様の役に立つ組合になる事を目指して行きたいと思っておりますので、ご支援とご協力をお願い致します。

最後に、組合員皆様の益々のご活躍とご繁栄をお祈り致しましてご挨拶と致します。



常務理事(電力部長)

田 中 学

いよいよ夏の到来を迎え、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。新年度の抱負にあたり、自然災害と労働災害への備えについて述べさせていただきます。

平成から令和の時代になり早2ヶ月が過ぎました。平成においては、東日本大震災をはじめとした地震災害や豪雨災害等の多くの自然災害が発生しました。また、そう遠くはない将来、南海トラフ地震の発生が懸念されています。また、昨年の北海道でのブラックアウト等を受け「電力インフラの強靱化」が国の緊急対策として位置付けされ、自然災害への備えをオールジャパンで考える必要があります。これからは設備高経年化対策に加え、災害対応の観点からも施工力の維持・強化が重要になってくると思っています。

次に労働災害についてですが、当組合では梯子からの転落災害が依然として発生しています。電気工事においては常に感電と高所からの転落リスクがありますが、その認識が欠如していると思われます。災害発生の都度、注意喚起を行っていますが、他人事としか思わず、当事者意識を持って対策を遵守していないことが根本原因であり、今年度の重点目標として「当事者意識の醸成による労働災害撲滅」を掲げました。

自然災害も労働災害にも共通して言えることは「起こって当たり前の状況」にあることを認識し、その前提に立ち対策を考え、実行することです。自然災害も労働災害もゼロで新時代元年を乗り切りたいものです。



県青年部長

森 川 昌 志

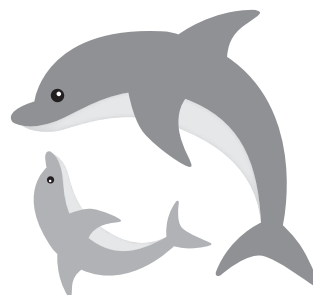
組合員の皆さまにおかれましては、益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。この度、県青年部長を仰せつかることになりました、ヤスイ電気㈱の森川昌志です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、元号が「令和」にかわり新しい時代をむかえました。電力自由化やIoTの普及による環境の変化が年々はやくなっている実感があります。私たち青年部も変化に対応するべく新商品や新工具・新工法などの講習会を積極的に開催していきたいと思っています。又、継続事業であります高校生との意見交換会や小学生を対象にしたエレキスクールも引き続き開催していきたいと思っています。意見交換会では、電気工事のやりがいや、楽しさ・辛さなどを直接伝えたり、高校生が思っている不安などを聞き出しアドバイスすることで電気業界を身近に感じてもらえるという相互にプラスになるいい機会だと思っています。エレキスクールも小学生やその保護者の方に、電気についての授業を行ったり、電気工事の楽しさを知ってもらえるような体験ができるととてもいい事業だと思っています。

そして今年の10月には、全国大会が金沢で開催されます。全国から集まる組合員さんに北陸・金沢の魅力をアピールできるよう精いっぱい協力していきたいと思っています。

最後になりますが、これからも青年部員がさらに一丸となれるよう努力してまいります。

相変わらぬ、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



第78期 通常総代会

石川県電気工事工業組合の第78期通常総代会が令和元年5月24日（金）金沢市の石川県電気工事工業組合会館で開催され、

- 平成30年度事業報告並びに財務諸表承認の件
 - 組合定款一部改正の件
 - 役員任期満了による改選の件
 - 令和元年度事業計画案並びに予算案承認の件
 - 役員報酬決定の件
 - 組合加入金決定の件
 - 組合借入金残高最高限度額決定の件
 - 1組合員に対する貸付最高限度額決定の件
- などの議案が審議され、原案どおり承認された。

総代会には能登本部の桜井勉氏を議長に選出し議案審議が行われた。

米沢理事長は次のように挨拶して出席した総代の理解と協力を求め、平成30年度の事業概要を説明した。

組合員の皆様には、日頃当組合の事業推進にあたり、格別のご支援、ご協力をいただき、心から厚く御礼申し上げます。

昨年も地震や豪雨、台風による大きな自然災害に見舞われ、多大な被害が全国各地で発生し、異常気象の猛暑が続いたことも記憶に残っています。特に、北海道でのブラックアウトなど地震を起因とする広域長時間停電が発生したことにより、改めて電気の重要性が広く再認識された年でありました。また、石川県内でも能登地区で大雨により河川が氾濫し、多くの家屋等で床上・床下浸水の被害が発生しました。

さて、昨年11月30日「第3回電気工事技能競技全国大会」が経済産業省、国土交通省、文部科学省、全国工業高等学校長協会後援のもと、東京・両国国技館で開催されました。

大会は、一般の部30名、女性の部5名、高校生9名、総勢44名が競技に臨み、当組合からは北陸ブロック代表として、一般の部に出場し銅賞に輝きました。隔年ごとに開催されているこの技能競技大会は非常に大きな意義を持っています。一人



ひとりの技術の向上が業界全体の技術の向上につながるものであり、日常の技能アップを目指すため、技能の向上を日頃から心がけたいと思います。

当組合では、7月に石川県へ「災害時における応急対策活動業務」に関する協定の締結に向けた要望書を提出しました。9月には、新たに能登本部で計器取次店業務を開始しました。また、9月から11月にかけては、業界理解促進交流事業を県内4校（石川県立工業高校、金沢市立工業高校、羽咋工業高校、大聖寺実業高校）で実施しました。就職に対する理解を深めて親近感を持っていただくことを目的に、今後もこの事業を継続していくことで地域社会との交流を深め、将来の人材確保につながるものと確信しています。2月には、全日電工連の合同会議が金沢で開催されました。さらに本年10月17日に金沢で開催される全国大会成功に向けて着実に準備を進めています。金沢市ESCO事業については、昨年4月から10年間の維持管理期間に入り不点灯等があれば迅速に対応しています。

電気を安心・安全にお届けすることが我々の使命であります。我々を取り巻く環境が厳しいことに変わりはなく大きな変革に直面しています。新たに生ずる課題や改革に遅延することなく、組合員が一丸となって、信頼され地域に貢献する「街の電気ドクター」として、組合員の皆様と共に考え行動する組合を目指したいと考えます。

尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

平成30年度 事業概要

○組合員 新加入者5名、脱退者9名、
期末において434名。

○出資総額 182,280千円、加入積立金186,773
千円、合計369,053千円。

○電力受注工事 平成30年度配電工事発注工量
計画の105.4%、前年度対比で99.4%の竣工実
績となりました。工費は2,566.9百万円、副資
材費676.1百万円、工事費合計では3,243百万円
の竣工額。

○一般用電気工作物調査業務 竣工調査におい
て受託件数10,544件（前年度対比60.7%）、受
託手数料26,985千円、並びに定期調査において
受託件数51,637件（前年度対比104.8%）、受託
手数料46,485千円、調査業務として73,470千円
の実績となりました。

本部名	受注実施件数		受託金額（千円）	
	竣工調査	定期調査	竣工調査	定期調査
金 沢	7,217	31,861	18,479	29,022
加 南	3,327	19,776	8,506	17,463
合 計	10,544	51,637	26,985	46,485

○配電工事施工品質評価実績 (単位：件)

評 価		工 業 組 合			
評価分類	評価項目	金沢	能登	加南	合計
取引停止 措 置	取 引 停 止				
	厳 重 注 意				
事故発生	災害(不休)				
	停電・漏油				
安全パト ロ ー ル	重大な指摘			1	1
	軽易な指摘	1			1
竣工検査	不 良 工 事				
	注 意 工 事				
苦 情	苦 情 発 生		1	1	2
合 計		1	1	2	4

○自主安全管理活動 安全管理は、「基本ルー
ルの遵守徹底」を最重点実施項目として位置付
け、諸施策に取り組んできました。当組合の配
電工事においては労働災害の発生はありません
でしたが、他県工組・他業態では重傷災害が発
生しており、他人事と思わず当事者意識を持つ
て再発防止策を遵守することが肝要です。

今年度も引き続き、「基本ルールの遵守徹底」
を最重点実施項目として位置付け、管理監督者
には「危険予知の確実な実施」「声かけ確認運
動」など安全最優先の原点に立ち返り、基本ルー
ルや再発防止策の定着に向けた取り組みをお願い
します。

自主安全パトロールでは、安全指導員のパト
ロール回数が低調であり、自身の役割を十分に
認識し、安全管理に対して積極的な取り組みが
求められます。また、重大な指摘事項は外線で
23件発生（引込線0件）しており、そのうち班
長の指示・監督に関わる内容が外線で11件と昨
年の5件から倍増しています。現場責任者と班
長の責務が厳格化されているにもかかわらず指

摘が減少しないことは、物事を他人事ととらえる管理監督者の自覚不足に起因するものと考えられます。今更ではありますが安全管理の重要性を十分に認識し、現場管理者は安全最優先の考えのもとに職責を果たす必要があります。

外線工事施工品質評価件数は、前年度の7件から4件と減少しましたが、一步間違えると重大な災害につながる変圧器の落下トラブルが2件発生しました。これは工事機材の整備不備に起因するものであり、工事機材の使用前点検の確実な実施が必要です。また、他業態で予定外の短絡接地器具取り外し忘れによるヒューマンエラー停電が発生しました。当組合ではヒューマンエラー停電は発生していませんが、他社トラブルを他人事と思わず当事者意識で再発防止策の遵守徹底を図ることが肝要です。

○保守管理業務 保守管理業務についての、業務受託契約件数は期首649件、期末においては609件となり、40件の減少となりました。

契約件数の内訳は官庁関係443件、民間166件であります。本業務はエンドユーザーとの信頼関係の中、メンテナンス分野を通して永続的な技術営業拡大につながるとの観点から、特に官公庁関係を主体に陳情を重ねてまいりましたが、近年は建物改修等により、一般用電気工作物から自家用電気工作物に変更されることから、残念ながら一段と厳しい状況で推移しました。

○教育・資格取得講習 平成30年度、第一種電気工事士定期講習の実施は、6回(金沢5回、能登1回)開催し733名の方が受講されました。定期講習は、電気保安の確保ならびに施工品質の向上、さらには電気工事士の資質の向上を図るために必要不可欠な講習であります。

当組合では、「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」を全組合員にお願いしています。今年度も引き続き、まだ登録されていない工事士の皆様には、是非とも「一般財

団法人電気工事技術講習センター」への「登録」をお願い致します。

○電気工事士免状発行等業務 電気工事士免状発行等業務の年度中取り扱い内容は、第一種電気工事士免状の新規交付が90件、第二種電気工事士免状の新規交付が773件と免状の書換え6件、再交付47件、合計916件(前年度対比98.6%)となり、受託手数料3,285千円(前年度対比98.8%)の実績となりました。

本事業は全国各工組において、取り組みが進められています。我々電気工事工業組合が受託することで行政機関ならびに社会からの我々の存在価値高揚につながるという信念に基づき取り組みを開始しています。

令和元年度も当組合は受託が決定しております。引き続きこの事業を継続することにより、組合の存在意義を大きくアピールしていきます。

○電気使用安全月間 平成30年度電気使用安全月間運動が8月に実施され、組合役員及び青年部を中心とした電気設備の点検、仮設建築工事現場27ヶ所(金沢本部管内)、重要文化財1ヶ所(加南本部管内)、街路灯の清掃点検奉仕作業122ヶ所(金沢市、白山市、津幡町)、非常用井戸ポンプの点検33ヶ所、エレキスクール(金沢・能登・加南本部で開催82名参加)及び各地域でのイベントや祭りの協賛で街頭宣伝や移動サービス相談所の開設など、電気使用安全月間PRを積極的に展開して参りました。

○広報活動 広報活動と致しましては、組合「こうほう」誌を年3回発行し、組合員各位、及び防災協定を締結している全市・町に配布致しました。

また、テレビCMについては、昨年引き続き「電気のフラメンコ篇」、「石川電気安全サービス“電気設備は大切な財産です”」という二つのタイトルでテレビ金沢のフリースポットで放

映いたしております。是非ご視聴されますようお願い致します。

○材料供給事業 材料供給事業については、本年度588,136千円(副資材577,622千円、内線6,387千円、一般4,127千円)の販売促進を図りました。資材供給事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後も組合員の経営安定と省力化に資するとともに事業を推進して参ります。

○事業資金の貸付 事業資金の貸付けについては、諸般の金利水準等の情勢を考慮し貸付金利率を前渡金3.5%で運用し、その他の貸付については4.0%で運用しました。年度中に総額42,300千円の貸付を行いました。

○福利厚生 福利厚生については、年度中に組合員6名の方が他界されました。心から哀悼の意を表します。また、例年実施しております健康診断も1,765名の方が受診されました。令和元年度も各本部で実施する予定でありますので、全員の受診をお勧め致します。

第三者賠償制度については、加入保険料26,073千円に対し、事故発生が19件(外線1件、引込1件、内線17件)、補償費9,908千円の給付を受けました。プロの技術者集団として恥じないよう各企業内の更なる技術教育の徹底をお願いするものであります。

また、全日電工連認定制度「組立保険」は、組合員の不測の事態に備え、工事の対象物に関し突発的な事故で損害が発生した場合、その復旧に要する費用を補償する保険です。スケールメリットを活かした加入費で充実した補償内容となっていますので、是非、ご一考下さい。

○全日電工連グループ共済制度 全日電工連グループ共済制度については、現在加入組合員236社、加入員1,358名、362,900万円の契約をして

おります。年度中には、死亡3件、入院2件6,485千円の給付を受けました。不慮の備えのために多数の加入をお勧め致します。

○北陸電力持株会 北陸電力持株会は昭和51年4月に発足以来、組合員各位のご理解のもとで平成31年3月末会員は70名、株式数592,682株を所有しております。

北陸電力との関係を一層密にし、協力体制を確立するために、また、株式の取得を容易にできることから資産形成にも役立っております。更に多くの組合員が加入されるようお願い申し上げます。

○青年部 青年部は、各世代に応じたアプローチで次世代の育成に力を入れています。小学生を対象に「エレキスクール」を電気使用安全月間の活動として実施し、電気の正しい使い方や工作を通じた電気工事の楽しさを伝えました。高校生を対象に「業界理解促進交流事業：意見交換会」を県下の高校4校で実施しました。電気工事業界への理解を深めて親近感を持っていただくことで、今後の入職促進に繋がるものとして確信し取り組みを行いました。

また、昨年11月に行われた第3回電気工事技能競技全国大会では、青年部の安部良君が石川県勢として初の銅賞を受賞しました。青年部諸君は、大会に向け連日、夜遅くまでの練習に付き添い、準備や後片付け等に大いにバックアップしていました。更に今年10月に開催される第33回電気工事業全国大会(金沢大会)に向けての諸準備には、企画段階から参画しており、これまで以上の活躍を期待しています。

組合の推進力だけではなく、業界全体の推進力となるべく活動を積極的にしており、全日電工連全国青年部協議会、北陸電工連青年部連絡協議会、石川県中小企業青年中央会など関係団体とも連携を深め、更なる飛躍と発展を期待し、支援していく考えであります。

平成30年度事業報告書

組合員事項

期首 438名 新加入者 5名 脱退者 9名 期末 434名

〔新加入者名〕

No.	事業所名	代表者名	所在地	本部	支部
867	みつぼしテクノ(株)	亀井 公顕	金沢市京町26－22	金 沢	兼 六
868	ワイディシステム(株) 金 沢 営 業 所	山元 成剛	金沢市いなほ2－11	金 沢	犀川西
869	(株) マ ッ ク ス	高尾 誠	金沢市寺中町ホ6	金 沢	みなと
870	(有) 前 川 工 業	前川 修	金沢市磯部町ト19－1	金 沢	兼 六
871	(株) e - p l e o n	吉田 雄太	白山市博労2－36	金 沢	白 山

〔脱退者名〕

事業所名	代表者名	本部	支部
宮 川 電 気 商 会	宮 川 俊 幸	金 沢	兼 六
寺 沢 電 工 (株)	船 本 節 子	金 沢	兼 六
(株) 誠 和 電 興	竹 田 茂外美	金 沢	犀 川 東
新 星 電 機 商 会	伊 藤 孝 信	金 沢	犀 川 西
光 明 電 設	大 門 孝 仁	能 登	七 尾
松 柳 電 機	伊 藤 雅 彦	能 登	羽 咋
杉 森 電 気 商 会	杉 森 克 忠	能 登	羽 咋
フ セ 電 気	布 施 茂	能 登	輪 島
(有) オ ギ ノ 電 設	荻 野 善 久	加 南	小 松

令和元年度事業計画

昨年の県内経済は、北陸新幹線の開業効果の持続や中小企業の頑張りから好調を維持しています。しかしながら、人手不足や世界情勢の不安から地方経済への影響が懸念されています。また、本年10月には消費税の引き上げが予定されており、経済対策としてキャッシュレス決済の導入なども注目されています。

一方、近年は自然災害が多発する中であって災害の都度、電気の復旧が注目を集めます。昨年の北海道地震をはじめ台風や豪雨などの災害により各地で停電が発生しました。季節や天候などの条件に左右されず年間を通し安定して一定の電力を作り出せるベースロード電源として志賀原発の一日も早い稼働を期待したいと思います。電気工事業界にとってはライフラインの確保は今も昔も大きな課題であることに違いはありません。安全に安心して送電するという日頃の使命を維持することは重要な毎日の課題です。

さて、昨年は「基本ルールの遵守徹底」を最重点実施項目と位置付け、諸施策に取り組んできました。然しながら、内線工事で梯子からの転落災害が2件発生しました。一昨年も引込線工事での梯子からの転落災害が発生しており、2年連続で梯子からの転落災害が発生したことは、大変重く受け止める必要があります。また、自主安全パトロールでは、一昨年の感電死亡災害を受けて定められた再発防止策の不遵守が散見されました。これらを踏まえ、今年度は、基本ルールの徹底と当事者意識の醸成を図り、労働災害の撲滅に取り組みます。

また、電気工事業界の労働力は決して十分とはいえません。慢性的な労働力不足に加え、少子高齢化に伴う労働力人口の減少、従業者の高齢化など働き方、雇用をめぐる環境は大きく変化しつつあります。電気工事業界の将来を考えると、女性の雇用促進と高校生など若年労働者には業界の魅力を理解してもらい、計画的な雇用推進が求められます。将来の人材確保対策として取り組みを行っている「業界理解促進交流事業：高校生との意見交換会」を引き続き実施し、電気工事業界の実態や魅力を発信していきます。

今年は全日電工連創立60周年という記念すべき節目を迎えます。創立記念に合わせた「第33回電気工事業全国大会」が、金沢の地で開催されます。金沢での全国大会の開催は1985年、1997年に続き3度目となる今年は、北陸新幹線開業より5年目となりました。移り変わる時代の中で、益々進化を遂げる金沢に訪れる皆様のご期待に添えるよう最高のしつらえを行うべく準備を着々と進めているところであります。

省エネ対策や原子力と代替エネルギーとのベストミックス等、電力基盤や電力の利活用が大きく変化しています。環境の変化を好機と捉え、組織の興隆と活性化に積極的に挑戦し、変化に対応できる組織作りに努めてまいります。

今年は、新たな元号の幕開けの年となりました。組合員の皆様方の尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

重 点 目 標

1. ゼロ災害と風通しの良い職場環境の醸成

- (1) 基本ルール of 遵守徹底と当事者意識の醸成による労働災害撲滅
- (2) 梯子、転落災害再発防止策の遵守・徹底
- (3) 安全パトロールの確実な実施による再発防止策の徹底
- (4) 法令遵守と風通しの良い職場環境づくり

2. 再発防止策定着による施工品質の向上

- (1) ラブル事例に基づく職場討議の定例実施
- (2) 工事車両、機材の使用前点検・整備の確実な実施と不具合発生時のすみやかな改修
- (3) 自主点検チェック表に基づく、中間検査・後見点検の確実な実施
- (4) 一般用電気工作物調査員のスキルアップ

3. 人材確保による施工力の強化

- (1) 処遇改善、作業ローテーション等による若年者のモチベーション向上と離職防止
- (2) 新入社員教育及び若年者教育の実施
- (3) 電気工事業界への理解促進活動（高校生や進路指導教員との意見交換会等）

4. 送配電会社の法的分離に向けた円滑な対応

- (1) 電気使用申込み方法の変更（インターネット受付化）に伴う諸課題のフォロー
- (2) 加南本部計器取次業務の受託に向けた円滑な対応

5. 新技術の習得・営業窓口分野の拡大

- (1) 創エネ・省エネ電化機器(200V機器)の販売促進
- (2) LED照明機器及び家庭用エネルギー管理システム(HEMS)の普及促進
- (3) eドクター制度への迅速な対応

6. 組合運営の活性化

- (1) 員外施工者への組合加入の促進
- (2) 青年部活動との連携強化
- (3) 各種諸行事への積極的参加（石川県電気安全協力会・内線工事研究会等）
- (4) 電気工事業全国大会(金沢大会)の開催に向けた諸準備の実施

7. 正しい原子力知識の啓発と原子力発電への理解

- (1) 「北陸地区電気エネルギーを考える会」の支援
- (2) 電力会社並びに関係官公庁諸団体との連携、一層の緊密化

折戸さん、砺波さん、吉倉さん、森さん、金谷さん、中谷さんに知事賞

第57回 優良従業員表彰式

79名を表彰

恒例の優良従業員表彰式が5月24日(金)、総代会に先立って金沢市の石川県電気工事工業組合会館で行われた。

表彰式は今年で57回目。表彰式には谷本県知事、篠山石川労働局労働基準部長、野田石川労働局労働基準部健康安全課長、中村県中小企業団体中央会専務理事、田丸県危機管理監室消防保安課長補佐、松田北陸電力石川支店執行役員石川支店長ら来賓が出席、米沢理事長は「企業は個々の人間が光ることで輝き、企業が輝くことで組合の存在意識が高まる。皆さんの長年の功績に敬意を表したい。」と受賞者をたたえた。

谷本県知事、中村専務理事、米沢理事長から受賞者に表彰状、記念品が贈られ、労をねぎらった。受賞者を代表して中谷忠次(タボタ電機㈱)が力強くお礼の言葉を述べた。

表彰を受けたのは次のみなさん。

(敬称略、カッコ内は勤務先)



石川県知事表彰(勤続30年表彰) を受賞して



(有)北橋電気工事

金 谷 勝 信

この度は、石川県知事表彰
を賜り誠にありがとうございます

ます。

これまで、自分に出来ることを一生懸命にやってきました。色々な事を乗り越えての受賞にただただ感激するばかりです。

これからも社長、同僚と共に会社のために安全、健康に気を付けて頑張っていく所存です。

石川県中小企業団体中央会会長表彰 (勤続30年表彰)を受賞して



上村電建㈱

安 田 幸 典

この度は、石川県中小企業
団体中央会会長表彰(勤続30

年)を賜り厚く御礼申し上げます。

私は、工業高校を卒業後に入社し、電気設備工事、送変電工事、通信工事等多種多様の工事に携わってきましたが、上司、諸先輩方のご指導のおかげで30年間続けてこれました。改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

現在は入社当時とは違い、同様の作業でも作業工法も変わってきており、作業手順も多くなっております。その中で安全作業で品質の向上を求められていると思います。

今後も安全作業に努め、品質の向上に努力したいと思います。また、後輩達の指導・育成に努めていきます。

これからもご指導くださいます様、お願い申し上げます。



〈石川県知事賞受賞の皆さん〉

写真：左より、吉倉 康裕、森 清一、金谷 勝信、中谷 忠次
折戸 博幸、谷本県知事、米沢理事長、砺波 洋

◆石川県知事賞

□勤続30年表彰（6名）

○金沢本部（3名）

折戸 博幸（米沢電気工事㈱）
砺波 洋（ ）
吉倉 康裕（石川県電気工事工業組合）

○能登本部（2名）

森 清一（昇陽電機㈱）
金谷 勝信（㈱北橋電気工事）

○加南本部（1名）

中谷 忠次（タボタ電機㈱）

◆石川県中小企業団体中央会会長賞

□勤続30年表彰（3名）

○金沢本部（2名）

坂井 雄一（米沢電気工事㈱）
安田 幸典（上村電建㈱）

○加南本部（1名）

立山 正博（中谷電気工事㈱）

◆石川県電気工事工業組合理事長賞

□勤続20年表彰（26名）

○金沢本部（17名）

赤井 将憲（米沢電気工事㈱）
山本 隆（ ）
中村 実（ ）
北村 大輔（ ）
高田 満（ ）
杉沢 直哉（ ）
新田 芳伸（ ）
矢本 貴史（立野電気工事㈱）
吉岡 秀次（宮島電興㈱）
星野 重行（㈱柚木商事）
本田 太（㈱鳴和電気商会）
北村 昭紀（ ）
井家 誠（ ）
加納 康弘（㈱明生電気商会）
橋村 潔（シグマ電機㈱）
橋爪 等（上村電建㈱）
新納 幹央（ ）

○能登本部（4名）

加 賀 真 剛（桜井電気工事㈱）
 塚 田 直 樹（清水電興㈱）
 大 目 英 隆（鳳珠電気工事㈱）
 盛 田 和 恵（石川県電気工事工業組合）

○加南本部（5名）

本 谷 寿（中谷電気工事㈱）
 江 川 潤（松本電機㈱）
 山 岸 貞 治（㈱今出電気商会）
 宅 見 栄 俊（ ）
 小出仙 幸 也（㈱北陸エレテック）

□勤続15年表彰（21名）

○金沢本部（18名）

北 野 翔 之（米沢電気工事㈱）
 中 村 郁 也（ ）
 鈴 坂 拓 也（ ）
 岡 村 高 志（ ）
 松 本 有 史（ ）
 高 田 誠 司（ ）
 秋 田 千絵子（ ）
 東 山 雄 一（ ）
 佐 藤 真 澄（ ）
 池 本 成 人（ ）
 崎 出 悠 司（㈱柚木商事）
 稲 谷 誠（野口電気㈱）
 河 野 茂（㈱鳴和電気商会）
 坪 田 大 輝（ツボ電気工事㈱）
 舟 橋 春 嗣（ ）
 上 田 幸 夫（ ）
 田 圃 孝 宜（シグマ電機㈱）
 新 本 弘 文（石川県電気工事工業組合）

○能登本部（1名）

杉 本 直 樹（㈱高田電機商会）

○加南本部（2名）

宮 脇 惇 郎（東本電気㈱）
 高 橋 博（㈱北陸エレテック）

□勤続10年表彰（23名）

○金沢本部（17名）

宗 廣 直 樹（米沢電気工事㈱）
 松 岡 篤 志（ ）
 岡 田 康 平（ ）
 扇 谷 勇 輝（ ）
 岡 崎 大 介（ ）
 西 村 涼（ ）
 清 水 優 也（ ）
 喜 多 健 介（ ）
 向 本 賢 洋（ ）
 東 隆之介（ ）
 門 田 丈 範（ ）
 林 宏 憲（ ）
 村 田 侑 一（立野電気工事㈱）
 鈴 木 悠 馬（㈱雄神電業社）
 細 川 加代子（㈱鳴和電気商会）
 上 山 尚 之（ほそ川ライテック㈱）
 中 村 一 成（ ）

○能登本部（3名）

寺 谷 直 斗（桜井電気工事㈱）
 堅 田 寿（清水電興㈱）
 波 瀬 公 雄（㈱浅倉電気商会）

○加南本部（3名）

中 川 憲 吾（タボタ電機㈱）
 宮 永 嵩 志（竹内電気工事㈱）
 西 花 辰 也（㈱荒河電気商会）

	金沢	能登	加南	計
知 事 賞30年	3	2	1	6
中央会長賞30年	2	0	1	3
理 事 長 賞20年	17	4	5	26
同 15年	18	1	2	21
同 10年	17	3	3	23
計	57	10	12	79

3 本部、相次いで全体会議を開催

金沢・能登・加南の3本部は、それぞれ全体会議を開き、平成30年度の活動報告及び決意を新たにして厳しい情勢下の令和元年度の組合運営・事業経営に対応する重点目標を採択した。

金 沢 本 部

5月16日(水) A N Aクラウンプラザホテル
金沢で全体会議開催



A N Aクラウンプラザホテル金沢ホテルにおいて、米沢理事長らのご出席の下、115名が出席し開催されました。

《感謝状贈呈》

(敬称略)

組合員として20年間組合に貢献された方

(平成10年4月1日～平成11年3月31日加入)

(株)リョウ

代表取締役 嶋田 愛彦 (犀川東支部)

(株)ムラツエ電設工業

代表取締役 村田 毅 (河北支部)

◆令和元年度 重点目標

「足場からの墜落・転落災害防止」を
徹底しゼロ災害を目指す

(1) 労働災害の防止

- ・指差呼称による一動作一確認の徹底
- ・法令・安全基準・基本ルールの遵守
- ・災害リスクの低減と不安全行動の排除
- ・目配り・気配り・思いやりのある行動

(2) 経営基盤の安定化

- ・人づくり 人材確保と育成に合理的で有効な方策
- ・新規組合加入者対応
- ・事業承継の支援

(3) 電気工事の施工品質の向上

- ・不良通知先組合員への個別指導強化による内線工事施工品質の向上
(接地不良、絶縁不良工事の撲滅)
- ・工事技術の向上により第三者損害賠償事故の撲滅
- ・共同保守管理業務における点検調査の完全励行
- ・北陸電力(株)インターネット申込受付対応

(4) 配電工事施工体制の強化

- ・企業統治(ガバナンス)強化による外線・引込線の工事技術の向上
- ・自主検査の徹底により不良工事の撲滅、人材育成教育の充実と技能継承の強化

(5) 営業分野拡大による需要開拓

- ・「製・販・工需要開発会議」の継続実施
- ・保守センター業務処理の迅速な対応とフォロー

(6) 省エネルギー機器の推奨、地球環境保全の意識高揚

- ・金沢市E S C O事業維持管理
- ・環境関連の提案型技術営業の推進
- ・H E M S（ホームエネルギーマネジメントシステム）の推進
- ・ほくリンク会員の加入協力

(7) 地域社会への貢献

- ・電気使用安全月間運動に於ける一般需要家に対する効果的なPR活動
- ・金沢市災害時協力井戸調査の実施

(8) 組合員意識の啓発、PR、広報活動

- ・第33回電気工事業全国大会（金沢大会）の開催に向けた諸準備
- ・金沢本部ホームページの充実



能登本部

4月18日(木) 和倉温泉 加賀屋で開催



和倉温泉「加賀屋」大会議室において、米沢理事長、田中電力部長、白崎安全部長、時長事務局長のご出席の下開催されました。組合員56名が出席しました。

能登本部安全衛生ポスター標語 優秀作品者表彰式（記念品授与）

○令和元年度重点目標の部

桜井電気工事㈱

ゼロ災は 基本作業の 積み重ね

○スローガンの部

桜井電気工事㈱

「大丈夫」 油断がまねく 重大事故

○行動目標の部

珠洲電気工事㈱

手順ヨシ 再確認で 無災害

◆基本目標

「ゼロ災害と風通しの良い職場環境の醸成」

◆重点目標

1. 組合運営の充実・職場の活性化

- (1) 人材の育成と高齢化対策の実施
- (2) 組合互助会・第三者損害賠償事故などの撲滅

- (3) 定期健康診断の実施
- (4) 青年部活動の育成と支援

2. 安全意識の高揚・労働災害及び公衆災害の撲滅

- (1) 職場作業環境に的確な自主安全管理活動の実施
- (2) 事業所訪問及び現場パトロールの実施
- (3) 労働災害及び交通事故の対策強化

3. 配電工事技術の向上と不良工事の撲滅

- (1) 配電工事新技術・工法及び新作業手順の的確な対応
- (2) 配電請負工事の施工者評価制度の管理徹底
- (3) 自主検査・後見点検の徹底によるヒューマンエラーの撲滅
- (4) 自主・交差パトロール時での的確な助言と指導事項等の徹底

4. 電気工事新技術の取得・経営意識の高揚

- (1) 各種資格取得等の支援
- (2) 第二種電気工事士・第一種電気工事士の育成
- (3) 石川県電気安全協力会主催、内線工事研究会主催行事への参加
- (4) 電気工事技能競技会への積極的参加

5. 電気設備保守とPRの促進

- (1) 保守管理業務の拡大と点検業務の完全実施
- (2) スイッチング申込お客様への円滑なスマートメーター工事の実施
- (3) 電気使用安全月間における電気設備無料相談所等の設置
- (4) お客様工事不良通知設備の改修強化

6. 広報活動による組合意識の啓蒙

- (1) 「工組能登」の発刊及び組合のPR
- (2) 組合活性化及び電気使用安全月間のPR
- (3) エネルギーを取り巻く環境への理解強化

加南本部

5月14日(火)「ゆのくに天祥」で開催



5月14日「ゆのくに天祥」(加賀市山代温泉)大会議室において、米沢理事長・田中電力部長らのご出席の下開催し、組合員48名が出席しました。

《感謝状贈呈》

(敬称略)

組合員として20年間組合運営に貢献された方々
(加入年月日：

平成10年4月1日～平成11年3月31日)

任田電設 代表 任田 健一

令和元年度重点目標

1. 自主安全管理活動による基本作業の順守徹底・安全意識高揚からの「ゼロ災」の達成
2. 配電工事における安全最優先と基本ルール順守の徹底を基本とした施工品質確保と効率化の推進
3. 内線工事における後見点検の完全実施による不良工事の撲滅(特に計器工事と接地工事)
4. 電気工事業界の将来を見据えた認知度向上と就労支援の促進
～第33回電気工事業全国大会の成功に向けた全面支援～
～組合組織の体制強化に向けた組合加入促進対策の立案と実施～
5. 災害時の迅速な対応と体制の強化
6. 経営力強化の支援と福利厚生制度説明会などの各種講習会の開催と積極的な参加
7. 電気工事士試験準備講習会の実施による資格取得支援
8. 他設備産業との連携強化による業界の地位向上と分離受注拡大
9. 地域行事への積極的参加と地域情報の収集
10. 電力システム改革に向けた北陸電力(株)および北陸電力送配電(株)との情報交換と相互協力による連携強化
11. 各委員会・各種行事の参加率向上による組合活動の活性化

電気使用安全月間行事

◇金沢本部

「百万石通り街路灯清掃活動」

恒例となりました百万石通り街路灯清掃を去る5月25日（土）早朝に金沢市役所、しいのき迎賓館前で31名参加の下行いました。

出動式には来賓として宮崎相談役、柚木本部長を始め本部役員の方々と金沢市からは山野金沢市長にもご参加いただきご挨拶を賜りました。

その後各班に分かれ、奉仕作業を行いました。安全作業を意識しながら汚れた街路灯を一基ずつ

丁寧に磨き、道端のゴミも拾いながら、約一時間かけ44基の街路灯を清掃しました。作業終了後、宮崎相談役からねぎらいの言葉を戴きました。

〈令和元年度 今後の行事予定〉

- 7月19日 河北支部街路灯清掃
(かほく市役所地内)
- 8月3日 青年部街路灯清掃
(金沢市城北市民公園)



◇能登本部

〈今後の行事予定〉

- サービス相談所の開設（定置）
日時：令和元年8月1日（木）～8月30日（金）
9：00～16：00
場所：当組合 能登本部
- 小学生を対象としたエレキスクール
(七尾市内児童 約30名)
日時：令和元年8月10日（土）
9：00～11：30
場所：七尾サンライフプラザ
第一・第二会議室
能登青年会が中心になって児童への電気使用のPRを行う。親子でLEDランプを作成し、電気の仕組みや大切さをPRする。
- サービス相談所の開設（移動）
日時：令和元年8月10日（土）
9：00～11：30
場所：七尾サンライフプラザ正面入口
本部広報企画部会が中心になり一般の方を対象に電気工事に関する無料サービス相談所を開設し、電気使用安全月間をPRする。
- キャラバン隊による巡回PR
日時：令和元年8月10日（土）
9：30～
場所：七尾市管内（公民館、保養施設等）
内容：電気使用安全月間のPR
- 工事現場等パトロールによる指導
(内線安全部会)
日時：8月1日（木）～8月30日（金）
場所：当組合能登本部組合員の作業現場等

◇加南本部

〈今後の行事予定〉

- 7月上旬 電気使用安全月間PR大型看板を会館外壁に設置
- 7月中 管内3市1町に電気使用安全月間の趣旨説明と上記ポスターの配布
- 7月下旬 組合員に昨年度電気使用安全月間ポスターコンクール最優秀賞受賞作品ポスター配布
- 8月上旬 重要文化財の電気設備点検
- 8月1日（木） 電気使用安全月間PR活動出発式（電気安全サービス）
- 8月10日（土） 「エレキスクール in こまつ」（小松市内小学生児童対象）
電気安全使用のPR
- 8月中 車両による巡回PR、チラシ・リーフレット・ツール等の配布
- 8月中 「電気使用安全児童ポスターコンクール」管内児童から月間をPRするポスター募集
- 8月中 内線作業現場の安全パトロールの実施、安全点検・電気災害防止PR

●●●●● 各本部だより ●●●●●

金 沢 本 部

- 1月7日 電力年賀挨拶（外線・引込線）
- 1月18日 内工研幹事会（電力）
- 1月22日 県本部選挙管理委員会
電気安全協力会合同パトロール
- 1月23日 金沢本部選挙管理委員会
- 1月24日 内線高压防保護具耐圧試験
- 1月25日 内線高压防保護具耐圧試験
- 1月30日 全体会議（新年会）
（ANAクラウンプラザ金沢）



本部役員会（ANAクラウンプラザ金沢）

- 2月4日 油圧圧縮器メーカー点検（白山・河北）
- 2月6日 新加入者面接試験
青年部役員会
- 2月8日 油圧圧縮器メーカー点検（金沢）
- 2月13日 通知業者特別教育（異業種研修会館）



県配電委員会
企画経営部会

- 2月19日 内工研大研修会
（津幡会場 津幡町文化会館シグナス）



- 2月21日 広報部会
- 2月22日 外線班長研修
- 2月23日 外線班長研修
- 2月25日 内工研大研修会
（金沢会場 いしかわスポーツセンター2階）
- 2月27日 内工研大研修会
（白山会場 白山市民交流センター）
- 2月28日 第一種電気工事士定期講習会
（県地場産業振興センター）
- 3月29日 金沢本部役員選挙立候補締切
- 3月1日 安全部臨時施設安全パトロール
安全部会
- 3月2日 青年部技術講習会（フルハーネス）



- 3月4日 新加入者教育

3月5日 経営セミナー
(ANAクラウンプラザ金沢)



3月20日 ボウリング大会 (青年部主催)
(御経塚グランドボウル)



3月6日 外線部会
青年部役員会
3月7日 親睦ボウリング大会
(御経塚グランドボウル)



外線事業主会議 (電力)
青年部役員会

3月22日 金沢本部役員選挙告示
無停電機材耐圧試験 (3/29迄)
3月25日 県配電委員会
4月1日 労働保険年度更新手続き (4/25迄)
4月4日 電気安全協力会委員会
4月6日 青年部総会 (ホテル金沢)



3月11日 若年者教育 (富山呉羽) (15日迄)
3月13日 犀川東・犀川西支部合同電力説明会
3月14日 (県) 総務・企画合同委員会
3月15日 北青協役員会 (福井)
3月16日 厚生部会
3月18日 外線班長教育
3月19日 本部役員会
無停電1級更新教育

4月16日 青年部役員会
4月17日 電気安全協力会理事会
4月22日 配電工事業主会議 (ホテル日航)
4月23日 監事会
4月24日 新入社員教育 (外線・引込線)
本部役員会
4月25日 新入社員教育 (外線・引込線)
4月26日 新入社員教育 (外線・引込線)
常務会
県青年部総会
(金沢ニューグランドホテル)



5月7日 青年部役員会
5月9日 県役員会（東急ホテル）
5月11日 第二種電気工事士（筆記）講習会



5月12日 第二種電気工事士（筆記）講習会
5月13日 E S C O委員会
5月14日 組合保有無停電機材耐圧試験
5月15日 電気安全協力会委員会
組合保有無停電機材耐圧試験
5月16日 全体会議
(ANAクラウンプラザ金沢)



本部役員会
(ANAクラウンプラザ金沢)

高所作業車耐圧試験（5/28迄）

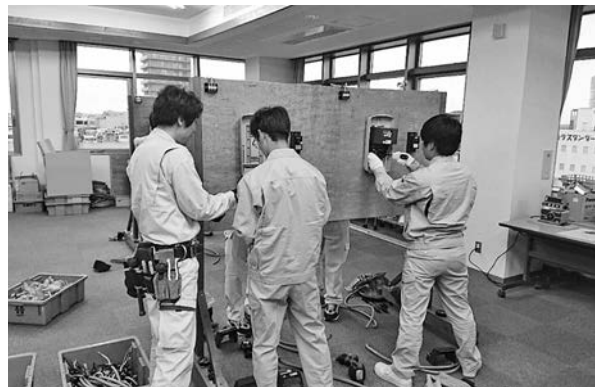
5月18日 第二種電気工事士（筆記）講習会



5月19日 第二種電気工事士（筆記）講習会
5月20日 内線新入社員教育講師打合せ
配電課長会議
5月24日 優良従業員表彰式
総代会
5月25日 第二種電気工事士（筆記）講習会
百万石通街路灯清掃



5月26日 第二種電気工事士（筆記）講習会
5月28日 内線新入社員教育



5月29日 内線新入社員教育
建災防総会

5月30日 内線新入社員教育
内工研幹事会（電力）

6月1日 北青協総会（富山）

6月3日 計測器照合試験



6月4日 計測器照合試験

6月5日 計測器照合試験

6月6日 計測器照合試験

6月7日 内工研委員会（電力）

6月10日 全国大会意見交換会部会

6月11日 電気安全協力会研修会
（いしかわスポーツセンター）



6月12日 いなずま会（白山CC）

6月13日 第一種電気工事士定期講習会
（県地場産業振興センター）

6月18日 全国大会準備企画・実務委員会

6月21日 PCB説明会（県庁）
県厚生委員会

6月22日 青年部技術講習会（フルハーネス）



6月28日 電設部会
県総務委員会

能 登 本 部

- 1月8日 北陸電力㈱ 新年挨拶回り
 1月15日～2月8日 計測器等の照合試験
 1月16日 支部長会議
 1月17日 県新年懇親会（於：金沢石亭）
 1月22日 選挙管理委員会（於：県本部）・
 全国大会業界PR部会議（於：県本部）
 1月24日 第2回全体会議及び電気エネルギーを
 考える会（於：あえの風） 48名
 1) 平成30年度第3四半期事業報告に
 ついて
 2) 平成30年度第4四半期決算、事業
 運営



- ◇電気エネルギーを考える会
 講師：北陸電力㈱七尾支店長
 塚本 明 氏
 （題目）電気エネルギーを考える
 ブラックアウト、電力シス
 テム崩壊について
 講師：北陸電力㈱石川送配電支社
 七尾配電・サービス部部長
 紺谷 勝 氏
 （題目）自然災害への対応・安全帯
 の改正について



- 2月1日 能登本部総代選挙告示
 2月2日 無停電機材非破壊試験（於：県本部）
 2月5日～6日 圧縮工具定期点検
 （於：北陸電力㈱）
 2月7日 安全管理指導員研修会議（於：富山市）
 2月13日 配電委員会（於：県本部）
 〃 電設・内線安全部会議
 2月15日 能登本部総代選挙立候補締切
 〃 配電自動化資格者更新講習
 2月18日 七尾内線工事研究会研修会 七尾会場
 （於：ワークパル七尾） 54名
 2月20日 七尾内線工事研究会研修会 穴水会場
 （於：穴水ふれあい文化センター） 33名
 2月20日～28日 配電工事施工者絶縁防保護具耐
 電圧試験
 2月22日 平成30年度班長研修会（於：津幡町）
 〃 電設・内線安全部会現場パトロール
 3月1日 県理事選挙告示
 3月7日 外線工事施工者会議
 3月11日～15日 平成30年度連合会外線工事施工
 者若年者教育
 （於：北陸電力㈱研修センター）
 3月12日 全国大会業界PR展示部会議
 （於：県本部）
 3月14日 総務・企画合同委員会（於：県本部）
 3月15日 県理事選挙立候補締切
 〃 労働保険年度更新説明会（於：金沢市）
 3月19日 無停電機材取扱者更新講習

- 3月20日 配電自動化工事者更新講習
- 3月22日 支部長会・役員会議
- 1) 役員改選に伴う組織編制について
 - 2) 平成31年度全体会議議案審議（定時総会）について
- 3月25日 電気安全北陸委員会優良電気工事業者表彰式（於：富山市）
- （優良電気工事業者表彰：
- 澤井電気工事 澤井 孝幸 氏）
- 4月13日 能登本部青年部総会



- 4月15日 作業改善提案表彰式
- （於：北陸電力(株)本店）
- 4月18日 全体会議（定時総会）
- （於：加賀屋） 56名
- 1) 平成30年度事業報告並びに収支決算報告承認の件
 - 2) 役員任期満了による改選の件
 - 3) 令和元年度事業計画(案)並びに予算(案)承認の件
- 4月18日～25日 間接活線工具耐電圧試験
- 4月22日 配電工事事業主会議
- （於：ホテル日航金沢）
- 4月23日 監事会（於：県本部）
- 4月24日～26日 外線引込施工者新入社員教育
- （於：県本部）
- 4月25日 木建工パトロール
- 4月26日 常務会（於：県本部）
- 5月8日 連合会厚生委員会（於：富山市）
- 5月9日 県役員会（於：金沢東急ホテル）
- 5月10日 青年部役員会

- 5月14日～5月31日
- 第二種電気工事士（筆記）受験準備講習会 4名



- 5月16日～25日
- 高所作業車（バケットライナー、第3ブーム）耐電圧試験
- 5月20日 配電課長会議（於：県本部）
- 〃 内線新入社員教育講師打合せ会議
- （於：県本部）
- 5月24日 総代会・優良従業員表彰式
- 総代12名 表彰者10名
- 5月30日 内線工事施工者新入社員教育 1名
- （於：県本部）
- 6月4日 連合会通常総会
- （於：ANAクラウンプラザホテル富山）
- 6月7日 青年部役員会
- 6月11日 七尾内線工事研究会幹事会
- （於：北陸電力(株)）
- 〃 広報委員会（於：県本部）
- 6月14日 七尾内線工事研究会委員会
- （於：北陸電力(株)）
- 6月13日～22日 仮設開閉器耐電圧試験
- 6月18日 全国大会企画実務委員会（於：県本部）、
- 業界PR部会議（於：県本部）
- 6月20日 組合新加入者説明会
- 6月21日 厚生委員会（於：県本部）
- 6月27日 第一種電気工事士定期講習会
- （於：七尾サンライフプラザ）
- 6月28日 総務委員会（於：県本部）

加 南 本 部

- | | |
|--|---|
| 1月4日 組合業務仕事始め | 平成30年度事業報告・会計報告 |
| 1月8日 加南本部新年安全祈願祭・新年顔合せ・
年始挨拶回り | 次期総代推薦者選出 |
| 1月8日 安全協力会新年安全祈願祭
小松支部：本折日吉神社 | 2月4日 安全サービス内部監査 |
| 1月9日 安全協力会新年安全祈願祭
加賀支部：加賀江沼神社 | 2月5日 加南本部選挙管理委員会 7名 |
| 1月9日 広報「かなん」発刊 | 2月7日 小松商工会議所
小規模企業振興委員連絡会 |
| 1月16日 組合員研修会 49名
「日本のエネルギー事情」
講師：北陸電力(株)小松支店長
荒木 裕幸 氏 | 2月7日～8日 北陸連合会
安全管理指導員研修 福光 |
| | 2月8日 圧縮工具メーカー点検 |
| | 2月12日～3月1日 内工研クイズ 154名/25社 |
| | 2月19日・21日・26日
インターネット電気工事申込システム説明会
小松市民センター 69名/51社 |
-
- 


-
- | | |
|--|------------------------------------|
| 1月16日 加南本部新年全体会議
「のとや」 49名 | 2月19日 高圧ケーブルレントゲン検査 |
| 1月18日 トルクドライバー校正試験
加賀支部 43本/21社（内不良0本） | 2月22日 営巣巡視保安教育 外線工事施工者 |
| 1月21日～22日 外線設計書竣工処理説明会
外線施工者6社 | 2月22日 営巣対応工事説明会 外線工事施工者 |
| 1月24日 第1回小松支部世話人会 5名
平成30年度総会打合せ | 2月22日 防護管業務保安教育 外線工事施工者 |
| 1月25日 加賀支部役員会 割烹「河口」 3名 | 2月27日 加賀労働基準協会 理事会 |
| 1月29日 小松労働基準協会 定例理事会
新年役員互礼会 | 3月4日～8日 活線防保護具耐圧試験 |
| 1月30日 平成30年度加賀支部総会
「ゆのくに」 16名
平成30年度事業報告・会計報告
次期総代推薦者選出 | 3月7日 第4回配電・災害対策委員会 11名
運営諸般について |
| 2月1日 平成30年度小松支部総会
「ルートイングランディア小松エアポート」 37名 | 3月8日 加南本部役員選出選挙 |
| | 3月11日～15日 外引施工者若年者教育 |
| | 3月12日 青年部役員会 |
| | 3月15日 労働保険事務組合年度更新説明会
地場産 |
| | 3月18日 配電自動化工事資格者更新教育 |
| | 3月19日 配電無停電工事資格者更新教育 |
| | 3月19日～22日 間接活線工具耐圧試験 |

3月25日 電気記念日記念式典
 優良電気工事業者表彰：(株)加南電設
 3月27日 検満施工者会議（小口高圧・低圧）
 4月9日 第1回配電・災害対策委員会 11名
 運営諸般について
 4月10日 第1回執行部会 5名
 運営諸般について
 4月10日 トルクドライバー校正試験
 小松支部 71本（内不良0本）
 4月12日 青年部総会 「森の栖」 19名
 4月15日～18日 仮設開閉器・リードケーブル耐
 圧試験
 4月16日 第1回総務委員会 5名
 運営諸般について
 4月17日～19日
 労働保険年度更新事務受付 49社
 4月19日 小松労働基準協会
 理事懇談会・労務福祉委員会
 4月22日 県配電事業主会議 ホテル日航金沢
 4月23日 第1回役員会 20名
 運営諸般について
 5月8日～5月31日 第二種電気工事士筆記試験
 講習会 計16回 受講者6名
 5月13日～17日 高所作業車耐圧試験
 5月13日～17日 圧縮工具圧力試験
 5月13日 小松労働基準協会健康診断団体会議
 5月14日 加南内線工事研究会 役員会
 5月14日 平成31年度全体会議
 「ゆのくに天祥」 48名
 ・平成30年度事業報告、決算報告
 ・令和元年度事業計画、予算承認



5月14日 組合員研修会 48名
 「働き方改革関連法案に関する研修会」
 講師：小松労働基準監督署
 第1方面主任監督官
 大川 陽平 氏
 5月16日 石川県電気安全協力会小松地区本部
 事務局会議
 5月21日 小松能美木造建築工事安全対策連絡協
 議会 役員会 2名
 5月24日 県優良従業員表彰式
 5月24日 県総代会
 5月27日 小松労働基準協会 三役会
 5月29日 小松支部世話人会 5名
 5月30日 石川県電気安全協力会小松地区本部 理事会
 6月3日 技術委員会役員会 4名
 6月3日 石川県電気安全協力会小松地区本部
 交通安全研修会
 6月4日 小松労働基準協会 定例理事会
 6月8日 第72回北電工組親睦ゴルフコンペ
 片山津ゴルフ倶楽部山代山中ゴルフ場
 参加30名
 6月9日 小松支部ボランティア「クリーンビー
 チいしかわ in こまつ」 参加22名





6月11日 小松能美木造建築工事安全対策連絡協議会 通常総会

6月13日 小松労働基準協会 安全衛生委員会

6月18日 加賀労働基準協会 第1回理事会

6月19日 第2回配電災害対策・第1回安全合同委員会

運営諸般について

6月20日 石川県電気安全協力会小松地区本部総会
こまつドーム 65名/39社

安全表彰

【個人】 宮越弘幸 (有)宮越電気商会
江川隆志 (江川電気工事)

【団体】

目標5年(1社) : (有)表電機

目標4年(2社) :

中谷電気工事(株)、東本電気(株)

目標2年(1社) : 竹内電気工事(株)

目標1年(1社) :

(株)北陸エレクトック



6月20日 加南内線工事研究会研修会
こまつドーム 75名/47社

優良電気工事店表彰

優秀賞 : (株)加南電設

優良賞 : タボタ電機(株)



6月25日 第1回広報厚生委員会
運営諸般について

6月27日 第1回電設委員会
運営諸般について

●●●●● 青年部だより ●●●●●

県青年部総会

県青年部総会が平成31年4月26日に金沢ニュー
グランドホテルにて開催され、

- ・平成30年度事業報告及び支出報告承認の件
- ・役員改選の承認の件
- ・令和元年度事業計画及び支出予算承認の件

の議案が審議され、全会一致で承認された。

また、今年度の事業計画として、10月に金沢で
開催される電気工事業全国大会への積極的な参画
や工業高校生との意見交換会事業の引き続きの開
催などが決定し、青年部の目的である業界の発展
と地位向上、さらに組合の推進力となるべく活動
していく所存である。

承認された役員は以下の通り

役 職	氏 名	事 業 所 名	本 部
部 長	森 川 昌 志	ヤスイ電気(株)	金 沢
副 部 長	安 部 良 崎 田 武 志 矢 敷 大 輔	(有)安部電気工事 (株)光陽電設 (有)矢敷電工	金 沢 能 登 加 南
理 事	泉 和 則 和 田 清 児 前 越 雅 春 野 沢 忍 嶋 田 愛 彦 高 桑 寛 治 中 村 栄太郎 高 井 主 坂 室 幸 志 薄 井 克 弘 小 川 省 吾 稲 垣 健 谷 本 真 人 中 澤 聡 山 本 威	(有)泉電気商会 三和電設(株) (株)前越電化社 野沢電気工事(株) (株)リョウ エレックジャパン(同) 米沢電商(株)/(株)明生電気商会 (株)ツカサ電工 坂室電機(株) (有)若葉電気商会 (株)小川電設 稲垣電機(株) (株)谷本電機 北光電気川北(株) (株)ヒカリ	金 沢 金 沢 金 沢 金 沢 金 沢 金 沢 金 沢 金 沢 能 登 能 登 能 登 能 登 加 南 加 南 加 南
監 事	今 村 強 保 下 厚 面 栄 樹	今村デンキ 保下電気商会 エーオ電設	金 沢 能 登 加 南

顧 問	津 田 直 樹 大 竹 和 彦 山 内 謙 一 長 戸 久 樹 大 地 正 喜 梅 田 佳 孝	(株)津田電業社 大竹電機(株) シグマ電機(株) (株)長戸電気商会 (株)大地電業所 (株)加南電設	金 沢 金 沢 金 沢 金 沢 金 沢 加 南
-----	--	---	--

『令和元年度 新入社員教育(外線・引込線)』が実施されました

去る4月24日(水)から4月26日(金)の3日間、新入社員の基礎的な知識・技能のレベルの統一ならびに向上を図ることを目的に実施しました。

記

I 実施日	平成30年4月24日(水)～ 4月26日(金)		
実施場所	石川県電気工事工業組合会館及 び北陸電力(株)田上変電所配電訓 練場		
主 催	石川県電気工事工業組合		
受講者数	11社15名(外線9社13名、引込 線2社2名) (金沢本部5社8名、能登本部 3社3名、加南本部3社4名)		
講 師	北陸電力(株) 福沢 配電部副課長 組合職員 田中電力部長 白崎安全部長 南川配電課長 西浦配電課長 村井配電課長 金沢本部 安井電気工事(株) 安井班長 勝崎電機工業(株) 大川班長 (株)鳴和電気商会 本田班長 宮村班長 能登本部 桜井電気工事(株) 加賀班長 加南本部 (株)北陸エレクトック 村井班長		

II 教育内容

学科(8時間)、実技(14時間)

学科では、最初に社会人としての礼儀、身だしなみ等のお客さま対応マナー、北陸電力(株)送配電事業本部配電部による「将来を担う若手の皆様へ」と題して配電工事の重要性、続いて電気工事への理解を深めるため「配電工事施工体制」や「組合組織」等の講義を行い、最後に安全心得や危険予知について教授した。

実技については、工具の基本的な使用方法、昇柱訓練、ロープの結び方と使用の方法、軽易な装柱工事、引込線新設工事等、配電作業全般について実施した。

III 評価と反省

(1) 受講者評価

◇受講後アンケートでは教育内容や指導方法について好意的な評価であった。

◇電気工事が社会を支えている等の感想があり、使命感醸成の一助となっていることがうかがえる。

(2) 事務局評価

◇昨年に引き続きロープの取扱や低圧線バインド等、連合会の若年者教育までに習得すべき技能に重点を置いて実施した。

『令和元年度 新入社員教育(内線)』が実施されました

去る5月28日(火)から5月30日(木)にかけて、
内線施工者の新入社員教育を実施しました。

この教育は、新入社員の基礎的な知識・技能の
レベル統一並びに向上を目的として実施していま
す。

記

I 実施日	令和元年5月28日(火)～	
	5月30日(木)	
実施場所	石川県電気工事工業組合会館	
主 催	石川県電気工事工業組合	
受講者数	19社40名 (金沢本部17社37名、能登本部 1社1名、加南本部1社2名)	
講 師	県本部	白崎安全部長
	金沢本部	徳田電設(株) 徳田 謙一
		(有)ヤマギシ電設 山岸 隆義
		アイ電設(株) 高桑 裕幸
		中森電気 中森 秀和
	能登本部	(株)光陽電設 崎田 武志
	加南本部	(株)上伸電機 竹田 大輔

II 教育内容

各1日／学科(3時間10分)、実技(3時間20
分)・全3回

学科：配電工事関連

実技：計量装置工事

III 評価と反省

(1) 教育内容について

◇学科では受講態度を含め「お客さま対応マ
ナー」を最初に講義し、社会人としての礼
儀について講義した。

◇実技では最初にナイフ・カッターの取り扱
いを扱い易いVVR3-8sqを使用して被覆
の剥ぎ取り練習を実施し、ケガの防止に努
めた。

(2) 講師評価(意見)

◇マナー研修では連合会主催の若年者研修で
の実例を示し、社会人としての礼儀を身に
付けるよう指導した結果、学科での受講態
度は前年度に比べ格段に良くなった。

◇昨年のケガを教訓として事前に被覆の剥ぎ
取り練習を行ったため、その後の実技を円
滑に行うことができた。

新加入組合員の紹介

《金沢本部》

【事業所名】 有限会社 前川工業



- 所属：金沢本部兼六支部
- 加入日：平成31年 2月20日
- 事業所名：有限会社 前川工業
- 住所：石川県金沢市磯部町ト19番地 1

- 代表者名：代表取締役 前川 修
- 従業員数：10人
- 主な事業内容：電気通信工事業（携帯通信会社 1 次下請）、土木工事業（金沢市指名業者）、とび・土木工事業

- コメント：電気通信工事業を主な事業として営業しておりますが、最近、現場で電気工事業等の他業種工程を含んだ総合工事が展開しており、社員が個々のスキルを発揮し、コンプライアンス遵守・安全施工・品質向上に、日々努力しております。よろしくお願いいたします。

【事業所名】 株式会社 e-pleon



- 所属：金沢本部白山支部
- 加入日：平成31年 2月22日
- 事業所名：株式会社 e-pleon
- 住所：石川県白山市博労 2-36

- 代表者名：吉田 雄太
- 従業員数：4人
- 主な事業内容：住宅配線、家電設置

- コメント：感謝と縁を第一に社員一人一人が輝ける無二の会社を目指しています。よろしくお願いいたします。

石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2019年3月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入でご好評をいただいております～

任意労災制度(業務中のケガと病気補償)【業務災害総合保険】の特長

1. 団体契約のため保険料が一般で加入するより
割安です(50事業者以上加入の場合15%割引適用)。
2. 従業員の方々からの**個別健康告知は不要**です。
3. 貴社の事業内容および売上高から保険料を算出し、
保険料は**全額損金処理**できます。
※法人が契約者として、従業員全員(役員を含みます。)のために負担する
保険料は全額が損金扱いになります。
(法人税基本通達9-3-5,9-3-6の2を準用 2019年3月現在)

こんな場合に
保険金をお
支



職場に向かう途中のケガ



仕事中のケガ

任意労災制度の特長

1. 地震もしくは噴火またはこれらによる津波によるケガ
を補償します。(地震・噴火・津波危険補償特約セットの場合)
2. 万一の訴訟・高額賠償に備えて！**「使用者賠償責任補償」**
①労災高額判決・和解金などに**最大3億円**まで
対応できます。
②**弁護士費用等**の訴訟費用も補償します。

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、パンフレットをご覧ください。取扱代理店または引受保険会社にお問い合わせください。

お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIG損害保険株式会社 金沢営業支店
金沢市南町4-60 金沢大同生命ビル

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

TEL 076-222-0005 FAX 076-222-1287

(受付時間)午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

(営業種目)自動車保険・火災保険

賠償責任保険・その他各種損害保険

引受保険会社



AIG損保 AIG損害保険株式会社

募集文書承認番号:D-003866 (2020-03)

全日電工連認定損害保険制度の概要

全日電工連組合員の皆さまに、3つの損害保険制度をご用意しております。全日電工連ならではのスケールメリットを生かした割安な加入費(保険料)で皆さまの経営を支えます。

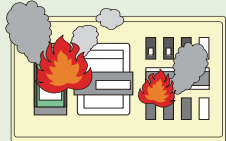
物への補償

人への補償

ご自身の損害

組立保険制度

組合員の皆さまの資材、工事物件を守ります。



夜間火災が発生し、現場事務所および収容の什器・備品を焼損した。



工事現場で電線が盗難にあった。

業務災害補償制度

従業員や役員、個人事業主などの労災リスクを補償します。



作業中に感電して亡くなられた。



従業員が作業中にケガをし、後遺障害第1級が生じた。

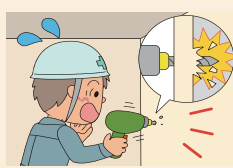
第三者の損害

第三者損害賠償制度

第三者(他人)の身体に障害を、または財物に損壊を与えてしまったことにより、法律上の賠償責任を負った場合に補償します。



5年前の太陽光発電システム設置工事の際、ボルトの締めが緩かったためすき間ができ、雨漏りが発生した。



空調設備工事中、誤って壁をキズつけた。



工事中、誤って工具を落とし通行人にケガをさせた。

定期講習へ行こう！

「(指定講習機関第1号) 電気工事技術講習センター」で受講しましょう！

第一種電気工事士のみなさまへ

5年に一度の定期講習をお忘れなく！

第一種電気工事士の方は、免状交付日から5年以内、その後は前回受講日から5年以内に講習を受講することが電気工事士法により定められています。

全日電工連 電気工事技能競技全国大会

スキルチャンピオン

第1回チャンピオン
泉谷 拓真

第2回チャンピオン
小柳 剛之

第2回女性の部
チャンピオン
前田 宏枝

電気工事技術講習センターが選ばれる理由

実績No.1はここにある！

25年以上の
講習実績

マイページから
技術情報閲覧
サービス

全国47都道
府県、複数の
地域で開催

最新情報
事故事例が
豊富なテキスト

豊富な経験を
もつ講師陣に
よる対面講義

登録されていない方は、まず登録を！登録いただきますと受講期限3カ月前までに講習をお知らせいたします。

(指定講習機関第1号) **一般財団法人 電気工事技術講習センター**

〒105-0004 東京都港区新橋4-7-2 (6 東洋海事ビル4 階)

TEL: 03-3435-0897 FAX: 03-3435-0828

実施協力団体：全日本電気工事業工業組合連合会 日本電気協会

<http://www.eei.or.jp>



登録 受講 は今すぐWEBで！

開催予定日	予定会場
2019年12月5日(木)	七尾サンライフプラザ内 多目的ホール
2019年12月18日(水)	石川県地場産業振興センター
2020年2月26日(水)	

事業主の皆さまへ

「働き方」が変わります!!

2019年4月1日から
働き方改革関連法が順次施行されます

Point
1

施行：2019年4月1日～ ※中小企業は、2020年4月1日～

時間外労働の上限規制が導入されます！

時間外労働の上限について、**月45時間、年360時間**を原則とし、
臨時的な特別な事情がある場合でも年720時間、単月100時間未満（休日労働含む）、
複数月平均80時間（休日労働含む）を限度に設定する必要があります。

⇒時間外労働ができる時間数を設定し、労働基準監督署に届け出ていただく際の様式と記載例を
厚生労働省HPにアップしました。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322_00001.html

Point
2

施行：2019年4月1日～

年次有給休暇の確実な取得が必要です！

使用者は、10日以上のある年次有給休暇が付与される全ての労働者に対し、
毎年5日、時季を指定して有給休暇を与える必要があります。

⇒時季指定の仕方など、具体的な付与の仕組みを整理した資料を厚生労働省HPにアップしました。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322_00001.html

Point
3

施行：2020年4月1日～ ※中小企業は、2021年4月1日～

正社員と非正規社員の間の不合理な待遇差が 禁止されます！

同一企業内において、
正社員と非正規社員（パートタイム労働者、有期雇用労働者、派遣労働者）の間で、
基本給や賞与などの個々の待遇ごとに不合理な待遇差が禁止されます。

⇒改正法への対応に向けた手順など、取組の参考となる情報を厚生労働省HPにアップしました。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000144972.html>

「働き方」に関する詳細・お悩みは【相談窓口】へ
改正法の詳細は厚生労働省HP『「働き方改革」の実現に向けて』をご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000148322.html>



企業への訪問支援のご案内

石川働き方改革推進支援センター

働き方改革関連法への対応における様々な課題に対して
社会保険労務士等の専門家アドバイザーが
無料で企業に出向き相談支援をいたします！

例えば

- ★企業の実態に即した労働時間の改善
- ★同一労働同一賃金を踏まえた企業側の対応
- ★生産性向上による国の助成金の利用

就業規則や賃金制度の見直しや、労働時間短縮につながる
業務プロセスの検討、それらに利用できる助成金のご提案等、
企業の実態に即した相談支援を個別訪問して行います。

(3回程度)

申込締切：2020年3月18日まで

お気軽にお申し込みください！

無料 訪問支援 申込書

※申込書受領後、訪問日時のご相談のためセンターより
ご連絡させていただきます。

企業名

部署

担当者名

連絡先電話番号

相談内容

【個人情報の取り扱いについて】

お申し込みの情報ならびに相談内容は、ご本人の同意なく本訪問支援以外での使用や第三者への提供または開示を
いたしません。

石川県電気工事工業組合

お申し込みは
こちら

金沢本部事務所 電話：076-269-7880 FAX：076-269-7881

能登本部事務所 電話：0767-53-0222 FAX：0767-53-8084

加南本部事務所 電話：0761-22-6244 FAX：0761-24-6316

石川働き方改革推進支援センター（石川県経営者協会 内）

お問い合わせはこちら

電話：0120-319339 FAX：076-231-0228

組合事務局日誌

- | | | | |
|-----------|--|------|--|
| 1月4日 | 仕事始め | 16日 | 専務・事務局長会議(石川県建設産業連
合会) |
| 9日 | 三役会議・年始挨拶回り(全日電工連) | 18日 | 能登本部全体会議 |
| 11日 | 組合運営研究会(石川県中小企業団体事
務局協議会) | 22日 | 石川県との協定締結式
配電工事事業主会議 |
| | 全国大会準備 交流会・昼食部会打合せ
若年者教育打合せ(北陸電気工事組合連
合会) | 23日 | 監事会 |
| 17日 | 新年懇親会
年始挨拶回り(北陸電気工事組合連合会) | 24日 | 配電委員会(北陸電気工事組合連合会)
総合政策会議(全日電工連)
新入社員教育(外線・引込線)~26日迄 |
| 22日 | 県選挙管理委員会
全国大会準備 業界P R・展示部会打合せ | 25日 | 電設委員会(北陸電気工事組合連合会) |
| 29日 | 新年懇親会(石川県電気業会) | 26日 | 常務会 |
| 30日 | 金沢本部全体会議 | 5月8日 | 厚生委員会(北陸電気工事組合連合会) |
| 2月4日 | 調査業務内部監査 | 9日 | 役員会 |
| 6日 | 組合加入面接
理事会・代議員会(ほくりく地域産業企
業年金基金)
合同会議打合せ
省エネルギー推進石川大会(石川県電気
使用合理化委員会) | 13日 | E S C O委員会
役員会(石川県中小企業団体中央会) |
| 7日 | 工・製・販座談会(全日電工連)
安全管理指導員研修(北陸電気工事組合
連合会) | 14日 | 加南本部全体会議 |
| 13日 | 配電委員会 | 16日 | 金沢本部全体会議
監事会(北陸電気工事組合連合会) |
| 15日 | 合同会議打合せ
全国大会打合せ | 17日 | 理事会(全国労働保険事務組合連合会石
川支部) |
| 20日 | 全日電工連幹部役員・北陸連合会幹部役
員「懇親会」(全日電工連) | 20日 | 配電課長会議 |
| 21日 | 理事会・政治連盟役員会・合同会議(全
日電工連) | 23日 | 理事会・総会(石川県電気業会) |
| 22日 | 屋外研修(全日電工連)
外線班長研修会 | 24日 | 総代会・優良従業員表彰式 |
| 28日 | 第一種電気工事士定期講習 | 27日 | 総会(北陸原子力懇談会) |
| 3月11日~15日 | 若年者教育(北陸電気工事組合連合会) | 28日 | 総会(金沢経済同友会)
新入社員教育(内線)~30日迄 |
| 12日 | 業界P R・展示部会(北陸電気工事組合
連合会) | 29日 | 支部大会・表彰式(日本電気協会北陸支部) |
| 14日 | 総務・企画合同委員会 | 31日 | 三役会議・理事会(全日電工連)
取締役会(㈱全日電工連サービス) |
| 15日 | 労働保険年度更新説明会(全国労働保険
事務組合連合会石川支部) | 6月4日 | 理事会・通常総会(北陸電気工事組合連
合会) |
| 19日 | 理事会(全国労働保険事務組合連合会石
川支部) | 5日 | 全国大会事務局打合せ
正副会長会議(石川県建設産業連合会) |
| 20日 | 外線事業主会議(北陸電力㈱石川支店) | 10日 | 総会・表彰式(石川県中小企業団体中央会)
意見交換会部会(全国大会実行委員会) |
| 25日 | 企画委員会(石川県中小企業団体中央会)
電気記念日式典・表彰式(日本電気協会
北陸支部)
配電委員会 | 11日 | 県広報委員会
総会(北陸経済連合会) |
| 4月11日 | 技術・認証委員会(全日電工連) | 13日 | 第一種電気工事士定期講習(金沢会場) |
| | | 14日 | 総会(石川県農業電化協会) |
| | | 18日 | 全国大会準備・実行委員会(北陸電気工
事組合連合会)
組合加入者面接 |
| | | 21日 | 県厚生委員会 |
| | | 24日 | 総会・講演会(石川県中小企業団体事務
局協議会) |
| | | 26日 | 三役会議(全日電工連) |
| | | 27日 | 理事会・通常総会(全日電工連)
第一種電気工事士定期講習(七尾会場) |

こうほう 第 146 号

発 行 2019 年 7 月 10 日

発行所 石川県電気工事工業組合
金沢市新保本4-65-22
TEL (076) 269-7880(代)
FAX (076) 269-7881



ひがし茶屋街



北陸を明るくしたい気持ちは どこにも負けないと思う。

安全に電気をつくり、安定した電気をお届けする。

もっと便利なサービスで、暮らしや地域に笑顔もお届けする。

今も、この先もずっと、北陸のために。